

# Cisco WebEx コールの復号中に Cisco Expressway B2BUA が RTCP マルチストリーミング更新パケットをドロップする

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[影響を受けるコール](#)

[推奨事項：X8.7.x システムのアップグレード](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Expressway または Cisco VCS ソフトウェア バージョン X8.7x がある特定の TelePresence 設定に影響を与える問題について説明します。

著者：Judith Andrews ( Cisco TAC エンジニアからの情報提供に基づく )

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco TelePresence IX5000 シリーズのイマーシブ エンドポイント ( すべてのバージョン )
- Cisco TelePresence Video Communication Server ( Cisco VCS ) または Cisco Expressway バージョン X8.7.x 以前
- Cisco TelePresence Server バージョン 4.3、4.4(1.9)、4.2 以前
- Cisco TelePresence バージョン 4.4(1.16) 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 背景説明

X8.7.x でのセッション状態メンテナンスのメカニズムは、暗号化されたコールに多数の SSRC ID がある場合には、問題の影響を受けやすくなります。これには、TIP を使用するイマーシブ エンドポイントからのコールや、マルチストリーム モードで動作するエンドポイントからのコールが含まれます。この問題は、VCS/Expressway X8.8.x 以降では解決済みです。ただしこの問題は、コール ログのいずれかの端にある VCS/Expressway の 1 つが X8.7.x である場合には、他が X8.8.x 以降であっても、暗号化されたコールに影響を与える可能性があります。

## 関連製品

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- Cisco TelePresence TX9000 シリーズ
- Cisco TelePresence System ( CTS )
- その他のビデオ エンドポイント

## 影響を受けるコール

TIP/MUX モードで動作するイマーシブ TelePresence システムからのコール、またはマルチストリーミング モードで動作する他の TelePresence システムからのコール。

Cisco VCS or Cisco Expressway X8.7.x により暗号化/復号された場合。

症状としては、ビデオにブロック ノイズが発生し、徐々に悪化していきます。エンドポイントは ( 受け取ったメディアのデコードによる問題が、認識できるパケット損失につながるため ) コールを終了します。他のビデオや品質の問題が発生する可能性もあります。

Cisco TelePresence Server では、この動作は、次の問題のトリガーとなる可能性があります。

- バージョン 4.3 または 4.4(1.9) : セッション更新を超えた共有。
- バージョン 4.2 以前、または 4.4(1.16) 以降 : 複数回の共有の開始および停止。

注 : この問題は、次のケースのいずれかが当てはまる場合は発生しません。1. Cisco VCS/Cisco Expressway との間での暗号化が無効になっている。2. TIP/MUX が無効になっている ( イマーシブ システム )。3. マルチストリームが無効になっている。4. Cisco WebEx が関与し、WebEx ビデオコールバック (Call My Video System) が使用されている場合

。

## 推奨事項 : X8.7.x システムのアップグレード

CMR Cloud インフラストラクチャ ( Cisco WebEx ) は、オンプレミスの Cisco VCS または Cisco Expressway X8.8.x があるお客様の問題を解決するために、X8.7 からアップグレードされました。これは、CMR Hybrid を使用しており、オンプレミスの Cisco VCS/Expressway X8.7.x がある他のお客様にも、この問題が発生している可能性があることを意味します。CMR Cloud やサードパーティ パートナーなどの他の Cisco インフラストラクチャとの暗号化コールにマルチストリーム/イマーシブ エンドポイントを使用している場合、Cisco VCS/Expressway X8.7.x をアップグレードすることを強くお勧めします。

## 関連情報

- [CSCvc47502](#)
- [CSCvc34689](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。